

特集展示



無縁寺心澄

コレクション展 房総ゆかりの作家たち

むえんじしんちよう

観覧無料

2023年 3月4日[土] - 3月24日[金]

休館日 3月6日[月]

開館時間 10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで、最終日は16:00まで)
※入場受付は開館の30分前まで

会場 7階企画展示室

観覧料 無料

主催 千葉市美術館

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



第54回千葉市民美術展覧会の開催にあわせ、千葉市美術館の所蔵作品のなかから、無縁寺心澄（本名・藤井茂樹 1905-45）の作品をご紹介します。

無縁寺は大正末から昭和戦前期にかけて、千葉市で水彩画やテンペラ画を制作していた画家です。文部省が主催する帝国美術院展（帝展）に入選する実力を持ち、千葉県内の美術振興にも積極的に取り組みました。現存する作品は千葉市内を中心に房総を描いた風景画が多く、特に千葉市内を描いた作品については、1945年の空襲で焼失する以前の街並みの記憶を今に伝える貴重な資料にもなっています。

今回は、無縁寺の作品のうつりかわりや、友人の文学者たちとの交流に焦点をしぼり、ご紹介します。

表面 上：無縁寺心澄《千葉中時計台》1931(昭和6)年頃
 下：無縁寺心澄《自画像(心澄自像)》1936(昭和11)年12月7日
 裏面 上：無縁寺心澄《妙見様のサーカス》1937-40(昭和12-15)年頃
 中：無縁寺心澄《機関庫の昼》1930(昭和5)年
 下：無縁寺心澄《医大尖煙突》1931-35(昭和6-10)年頃
 すべて白井三郎氏寄贈、千葉市美術館蔵

[次回展予告]

2023年4月8日[土]-5月21日[日]

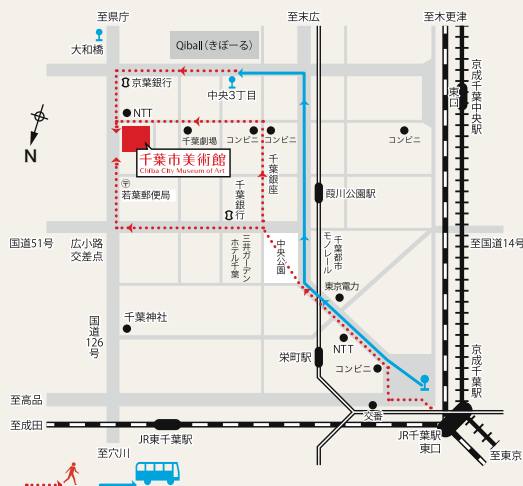
「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容
 瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄



牛腸茂雄《幼年の「時間」1》
1980年頃 新潟市美術館蔵

【交通案内】

- JR千葉駅東口から
 徒歩約15分／京成バス(バスのりば7)から大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分
 - 京成千葉中央駅東口から徒歩約10分
 - 東京方面から車では、京葉道路・東関東自動車道で、宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街地方面へ約3km、広小路交差点近く
- *地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。 *シェアサイクルスポットがあります。



千葉市美術館 Chiba City Museum of Art
 千葉市中央区中央3-10-8
 tel.043-221-2311
<https://www.cma-net.jp/>

